

令和元年度 奈良市立中学校 卒業証書授与式

祝 辞

校庭の木々の蕾もふくらみはじめ、春の息吹を感じる今日の佳き日、ここに奈良市立平城西中学校卒業証書授与式が盛大に挙行されますことに心からお祝いを申し上げます。

先程、栄えある卒業証書を手にされました皆さん、ご卒業おめでとうございます。九年間の義務教育を修了し、それぞれの進路に向かって新たな一歩を踏み出す時がきました。皆さんの凛とした姿と誇らしげな表情に、限りない可能性を感じます。

さて、昨年、リチウムイオン電池を開発された吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞されました。リチウムイオン電池はパソコンやスマートフォンなど、私たちの身の回りで広く使われ、今やなくてはならないものとなっています。吉野さんは、小学四年生の時に、担任の先生にすすめられた『ロウソクの科学』という本を読んだことをきっかけに、身の回りの材料を使った実験にのめり込むようになったそうです。そして、好きが高じて化学が得意科目となった吉野さんは、その後も、試行錯誤を繰り返し、ついにリチウムイオン電池の開発に成功したのです。吉野さんは、若者に向けて「好奇心を持って調べていくと、得意なことができ、将来の夢につながる。好奇心を大事に持ち続けてほしい。」とメッセージを送っています。

これからの未来は、AIやロボット技術などの飛躍的な発展、グローバル化のさらなる進展など、急激な変化が起こると言われています。皆さん、これからも吉野さんのように、興味や関心のあることに対して好奇心を持ち続け、探究すること、そして、学び続けることを大切にしてください。そのことが、予測困難な未来においても、自らの可能性を発揮することや、よりよい社会を創り出し、幸福な人生を切り拓くことにつながっていくと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、これまで指導にあたってこられました上羅和博校長をはじめ、全ての職員の方々、いつも子どもたちを温かく見守ってくださいました地域の皆様に、謝意と敬意を表しまして、祝辞といたします。

令和二年三月十五日